

医療・福祉にアイデア

川崎医福大
卒業制作展 人体図や診察券

倉敷の美術館

川崎医療福祉大（倉敷）をテーマに4年生15人（敷島松島）医療福祉デザイン学科の卒業制作展が、同市中央の市立美術館で開かれてい

る。「利用しやすい」小学校の教材用として考えた等身大の人体図は、楽しみながら臓器や筋肉の構造を学べるように工夫。観光地の「顔出しパネル」みたいに、頭部に開けた穴から顔を出せる。医師の似顔絵シールを来

貼る診察券は、病院が苦手な子どもたちに親しみを持ってもらうためのアイデア。障害者への理解を求める啓発看板もあり、来場者が熱心に見入っている。

同市中島、池田孝之さん(49)は「柔軟な発想に感心します」と話していた。

（鳥越謙一）



人体図の特徴を説明する学生(右)

院のたびに